

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

存在意義（Purpose）

人と技術の創造的融合を繰り返し、革新的な素材開発によるソリューション提供を通して、社会的課題を解決し、世界を健康にする

GHG排出量削減
30%

② 中長期の経営戦略

1. カガクでネガイをカナエル会社

化学という冒険を通じてドリームをリアルにし、人々の人生に役立つ会社になる

3. R2B+P（研究開発加速）

研究開発とビジネスの結合を進め、モノづくり起点で新製品事業化のスピードとスケール向上

2. ハイブリッド経営イノベーション

異質なものを新しく組み合わせ、多種多様な異種技術で独創的価値あるソリューション創出

4. ライフサイエンス重点シフト

生分解性バイオポリマーGreen Planet®など、地球生命の健康を実現するテクノロジーに挑戦

③ 対処すべき課題

① パーパス経営の実装

- ・ 環境・エネルギー、食糧、健康の三つの危機にテクノロジー磨きをかけ解決
- ・ 自然環境負荷軽減と気候変動・大量絶滅リスク減少を目指す

② グローバル経営体制強化

- ・ トランプ関税など地政学的リスク変化への対応
- ・ Regional Head Quarterを中心にグローバル適応能力を強化
- ・ M&A、技術提携、Open Innovation推進

③ ダイバーシティと人材育成

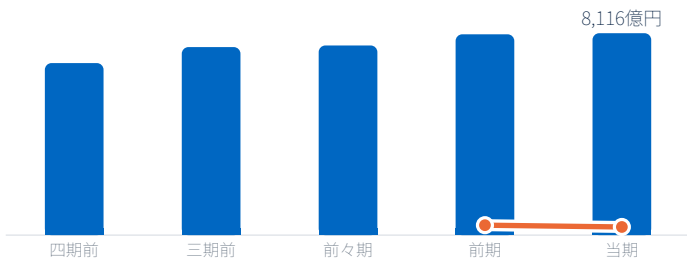
- ・ 女性リーダー層育成強化で成長と変革を牽引
- ・ カネカ1on1を通じた個人成長と組織成果向上
- ・ 属性を問わず多様な視点から新発想創出

面接で使えるポイント

- ・ 環境・エネルギー、食糧、健康という三つのドメインで、革新的素材開発によるソリューション提供に携わるチャンス
- ・ Green Planet®などの生分解性バイオポリマーをはじめ、ライフサイエンス領域のR2Bに挑戦する成長性
- ・ グローバルネットワークと地産地消型体制で、トランプ関税などの変化に強くレジリエントなビジネス展開

証券コード 4118

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
8,116億円営業利益率
4.1%財務健康度
36点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 62.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
824万円

化学内 35位/204社

平均年齢
41.0歳

化学内 137位/204社

平均勤続
16.0年

化学内 101位/204社

女性管理職
6.8%

化学内 80位/173社

男性育休
93.8%

化学内 56位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 国際協力銀はカネカのインドネシア法人の加工油脂製品事業を支援

